

※本資料は、神戸市政記者クラブ、神戸経済記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブに同時資料提供しています。

記者資料提供（令和2年1月31日）

医療・新産業本部 医療産業都市部 調査課 花房・秋澤
TEL：078-322-6373（内線 2383） FAX：078-322-6010
国立大学法人神戸大学 研究推進部連携推進課 長井・丹治
TEL：078-803-5945 FAX：078-803-5389



内閣府「地方大学・地域産業創生交付金事業」に採択されました ～神戸未来医療構想の始動～

このたび、内閣府の「地方大学・地域産業創生交付金事業」において、本市が神戸大学や産業界とともに提案した「神戸未来医療構想」が採択されましたのでお知らせいたします。

つきましては、「神戸未来医療構想」の狙いなどについて、共同記者会見を行いますので、皆様のご出席をお願いいたします。

1. 事業名

神戸未来医療構想

2. 事業目標

神戸医療産業都市において医療機器開発のエコシステムを形成するため、神戸大学医学部附属病院国際がん医療・研究センター（ICCRC）に、産学官連携による実証拠点（リサーチホスピタル^{※1}）を整備します。そこでは、AI・5G・8K等の未来医療技術^{※2}を活用した医療機器の研究開発や医工連携人材の育成を行います。これらの取り組みにより、医療産業のさらなる発展と若者の地域就業・定着を推進することで地方創生を実現します。

3. 事業概要

- ・先進的治療・革新的医療機器の早期社会実装に向け、ICCRC や統合型医療機器研究開発・創出拠点（MeDIP）^{※3}を臨床医・研究者・企業による実証拠点として整備し、産学官医連携によるオープンイノベーションを創出
- ・市内に拠点を置く医療機器メーカーをはじめ、地元中小企業、スタートアップ企業との連携・協力により、未来医療技術を活用した医療機器開発を推進
- ・医療従事者・研究者・企業に学生も加わった実践的教育を実施

※1：新しい治療技術や医療機器の開発や臨床研究を実施する病院

※2：AI（人工知能）、5G（第5世代移動通信システム）、8K（超高精細映像技術）など医療への応用が期待される新しい技術

※3：前臨床試験可能な最新設備を備えた手術室が整備された施設

4. 参画機関・企業（予定）

国立大学法人神戸大学、エア・ウォーター株式会社、株式会社NTTドコモ、株式会社オプティム、川崎重工業株式会社、シスメックス株式会社、スカイジェット・メディカル株式会社、株式会社メディカロイド

5. 協力機関（予定）

兵庫県、公益財団法人神戸医療産業都市推進機構、神戸商工会議所、神戸都市振興サービス株式会社、一般社団法人BioResource Innovation Hub in Kobe、株式会社みなと銀行

6. 令和元年度内示額

事業費229,421千円のうち交付金152,481千円

7. その他

国の公表資料は別紙2のとおり

（参考）地方大学・地域産業創生交付金事業について

産官学連携により、地域の中核的産業の振興や専門人材育成などを行う取り組みを支援し、地域の生産性の向上、若者の定着を促進するとともに、特色ある地方大学づくりを進め、地域における若者の就学・就業の促進を目的としています。

【共同記者会見概要】

① 日時・場所 令和2年2月12日（水）9：30～10：30
神戸市役所1号館16階 会見室

② 出席者（予定）

神戸市長	久元喜造
神戸大学長	武田 廣
株式会社メディカロイド常務取締役	田中博文
神戸市理事（医療・新産業本部長）	今西正男
神戸大学理事（産学連携）	小田啓二
神戸大学理事（病院・学生・危機管理）	杉村和朗
神戸大学未来医工学研究開発センター長	向井敏司

③取材にあたって

共同記者会見出席のための事前申し込みは不要です。